



サイエンスカフェ

science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。

第56回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2020年 12月 18日(金)
18:00 ~ 19:30

●場所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：「核融合発電の実現を目指して」

●ゲスト：^{こうの} ^{はるひこ} 河野 晴彦 氏
(大学院情報工学研究院
物理情報工学研究系 准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

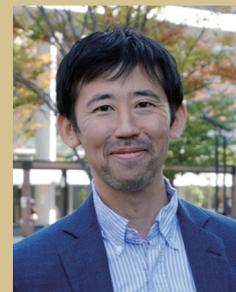
●申込み 必要（定員20名）

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509（平日10:00~17:00）

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

Web：http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe



ゲスト紹介

こうの はるひこ
河野 晴彦 氏

大学院情報工学研究院
物理情報工学研究系
准教授

世界の人口はこの40年で35億人増加しました。今後もさらなる増加が予想され、人々が生きていくためには莫大な電力を消費することになります。発電に使用する化石燃料には限りがあり、環境への影響も考慮しなければなりません。再生可能エネルギーを積極的に取り入れることも重要ですが、限界があります。今回は、核融合発電がすべての問題を解決しうること、そして、その開発の現状と今後の展望についてお話しします。

